

API 連携認証画面の操作手順

1. 外部企業サービスの金融機関口座登録画面で当行を選択すると、名古屋ビジネスダイレクトの API 連携認証画面が表示されます。
2. 「電子証明書ログイン」ボタンをクリックし、電子証明書を選択してください。

API連携認証 BLGI024

【免責事項】
本機能はお客様の金融情報を に提供するものです。必ずお客様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。
電子証明書をお持ちの方は、「電子証明書ログイン」ボタンをクリックしてください。

電子証明書方式のお客様

[電子証明書ログイン▶](#)

3. ログインパスワードを入力し、「API 連携」ボタンをクリックしてください。

API連携認証 BLGI024

ログインパスワードを入力の上、「API連携」ボタンをクリックしてください。
※は必須入力項目です。

● 認証項目

ログインパスワード※ ●●●●●●●● [ソフトウェアキーボードを開く](#)

☒ ソフトウェアキーボードを使用

[API連携](#)

4. 残高照会と入出金明細照会にチェックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。
(既にチェックされている場合もあります。)

API連携認証 (認可業務選択) BLGI032

 にてご利用の対象業務を選択の上、「次へ」ボタンをクリックしてください。

● 認可対象

認可対象 ☒ 残高照会 (リアルタイム)
☒ 入出金明細照会 (アンサー)

[次へ▶](#)

5. 認可対象、認可期間、意識確認欄の記載内容を確認いただき、ご納得されたうえで「認可手続きを継続する」をチェックし、「許可」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows a web form titled "API連携認証(情報アクセス認可)" with a user ID "ELGI029" in the top right. The form is divided into three main sections: "認可対象" (Authorization Target), "認可期間" (Authorization Period), and "意思確認" (Confirmation).
1. "認可対象" section: A text box contains "残高照会(リアルタイム) 入出金明細照会(アンサー)". A green callout points to this box with the text "外部企業のサービス名が表示されます".
2. "認可期間" section: A text box contains "一定期間". A green callout points to this box with the text "API 連携を認可する最大日数が表示されます".
3. "意思確認" section: It contains a warning icon and red text: "「許可」ボタンをクリックする前に、[redacted] のWebサイトを信頼できるかどうかをお客様自身の判断で確認してください。" and "「許可」ボタンをクリックすることによって、お客様は [redacted] の利用規約のもと利用を続けることになります。" followed by "認可手続きを継続する場合は「認可手続きを継続する」のチェックボックスをチェックしてください。" and "なお、本アプリケーションへのアクセスは、金融機関へ連絡することいつでも解除することができます。" Below this is a checkbox labeled "認可手続きを継続する" which is checked. A red dashed box encloses this checkbox and the "許可" button. At the bottom, there are two buttons: "拒否" and "許可".

6. 名古屋ビジネスダイレクトでの API 連携認証手続きが完了すると、外部企業サービスへ画面が戻ります。